

第1章 四街道市の概要

第1節 自然的条件

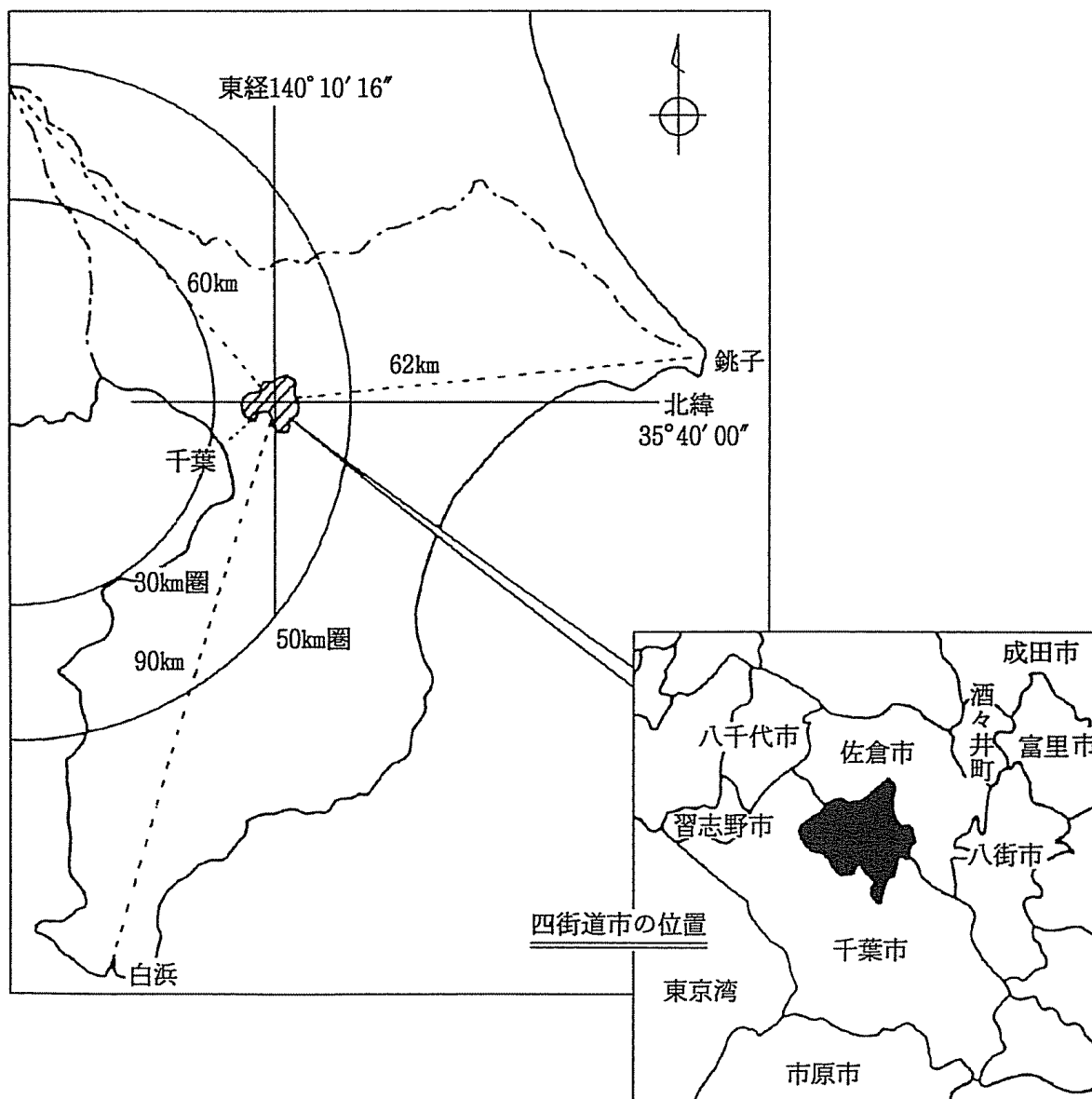
1. 位置

本市は千葉県北部に位置し、県都千葉市へ8km、都心へ40kmの圏内にあり、広域幹線道路の国道51号線、東関東自動車道が横断し、千葉市、佐倉市に隣接しています。市域は東西7km、南北9km、面積34.52km²です。

(市役所の位置 東経140度10分16秒 北緯35度40分00秒)

本市の地形は、平坦な台地状である西部と、印旛沼流域の谷津田が浸食している起伏のある台地状である東部で成り立っています。

図表1-1-1 市の位置



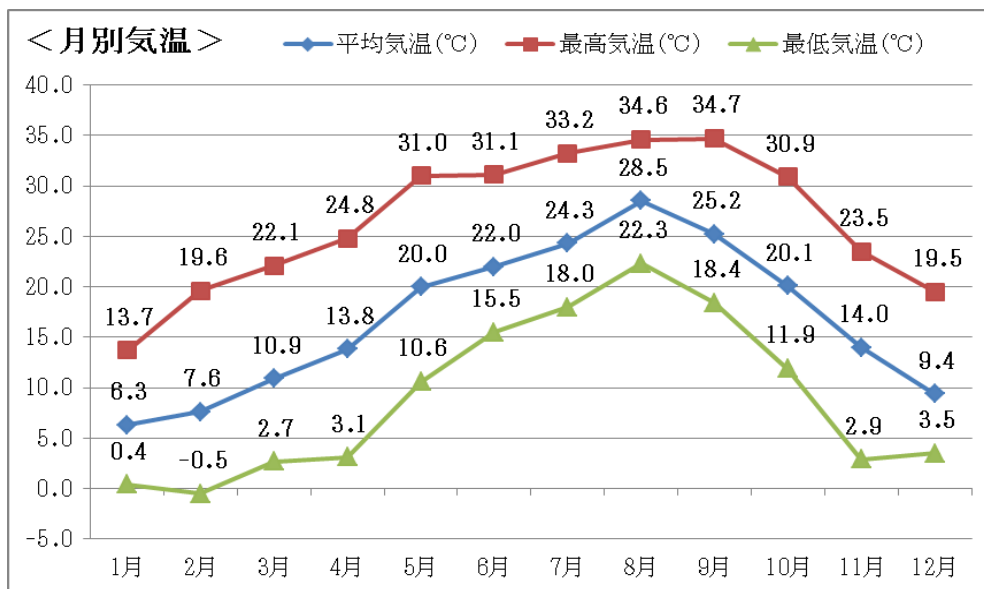
2. 気象

気象条件は、大気汚染の状況に大きな影響を与えます。平成31年・令和元年及び近年の気象の状況は以下のとおりです。

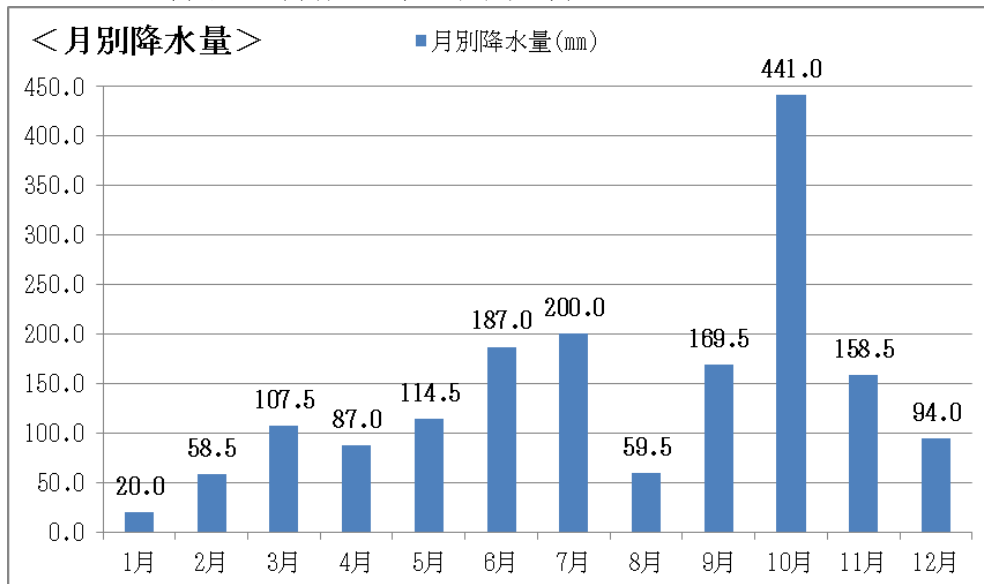
図表 1-1-2 気温等の月別推移（平成31年・令和元年） 資料:千葉特別地域気象観測所
(千葉市中央区中央港)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
平均気温(°C)	6.3	7.6	10.9	13.8	20.0	22.0	24.3	28.5	25.2	20.1	14.0	9.4	(平均) 16.8
最高気温(°C)	13.7	19.6	22.1	24.8	31.0	31.1	33.2	34.6	34.7	30.9	23.5	19.5	(最高) 34.7
最低気温(°C)	0.4	-0.5	2.7	3.1	10.6	15.5	18.0	22.3	18.4	11.9	2.9	3.5	(最低) -0.5
降水量(mm)	20.0	58.5	107.5	87.0	114.5	187.0	200.0	59.5	169.5	441.0	158.5	94.0	(合計) 1697.0

図表 1-1-3 月別気温（平成31年・令和元年）



図表 1-1-4 月別降水量（平成31年・令和元年）

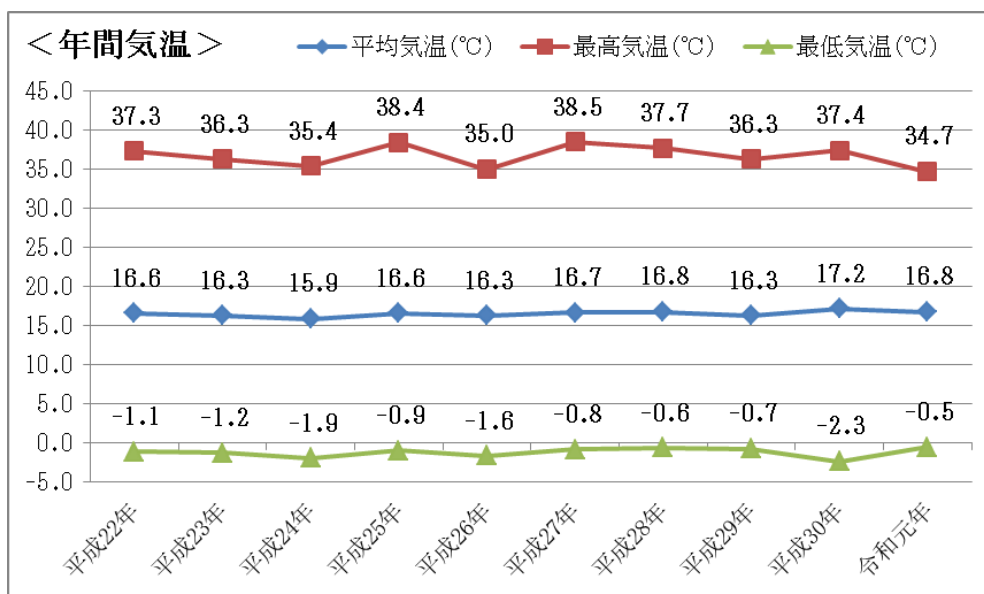


図表 1-1-5 気温等の年別推移

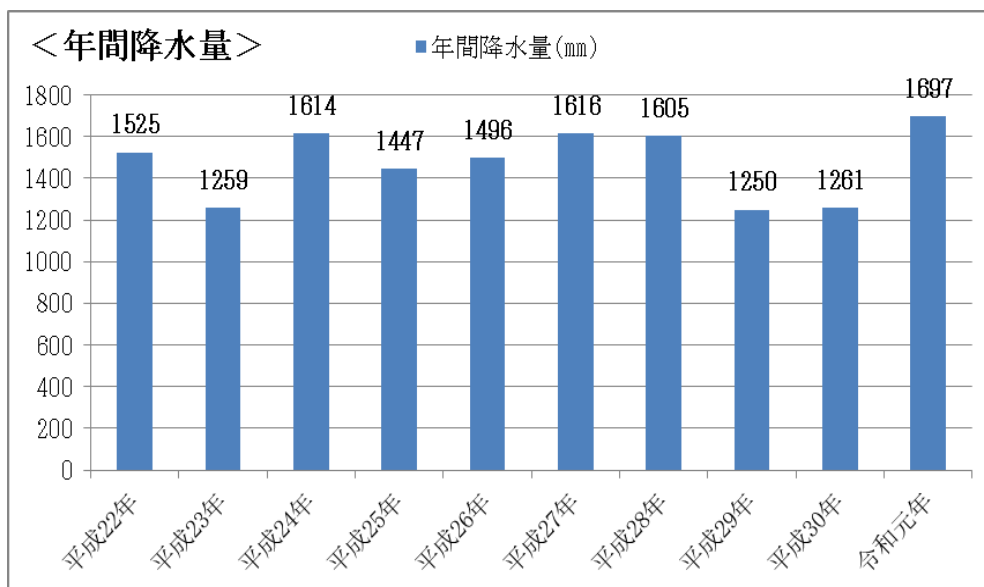
資料：千葉特別地域気象観測所(千葉市中央区中央港)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平均
平均気温(℃)	16.6	16.3	15.9	16.6	16.3	16.7	16.8	16.3	17.2	16.8	16.6
最高気温(℃)	37.3	36.3	35.4	38.4	35.0	38.5	37.7	36.3	37.4	34.7	36.7
最低気温(℃)	-1.1	-1.2	-1.9	-0.9	-1.6	-0.8	-0.6	-0.7	-2.3	-0.5	-1.2
降水量(mm)	1525	1259	1614	1447	1496	1616	1605	1250	1261	1697	1477

図表 1-1-6 年間気温(平成22年～令和元年)



図表 1-1-7 年間降水量(平成22年～令和元年)



第2節 社会的条件

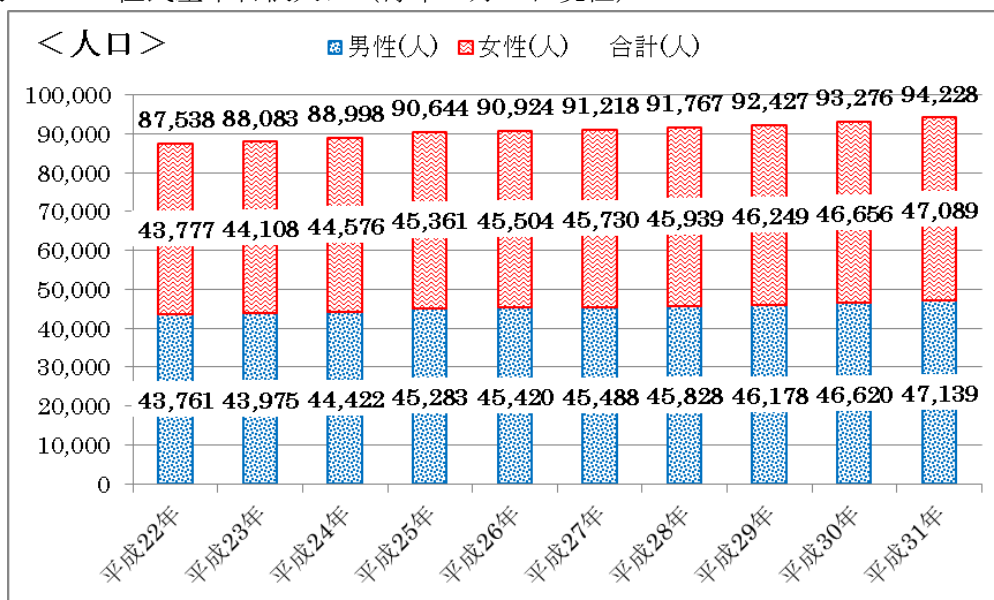
1. 沿革

明治22年（1889年）の町村制施行によって千代田村と旭村が誕生しました。昭和15年（1940年）に、千代田村は町制を施いて千代田町となり、昭和30年（1955年）3月に、千代田町と旭村が合併して四街道町となりました。昭和40年代からは、首都圏のベッドタウンとして急速に人口が増加し、昭和56年（1981年）4月、市制施行の運びとなり現在にいたっています。

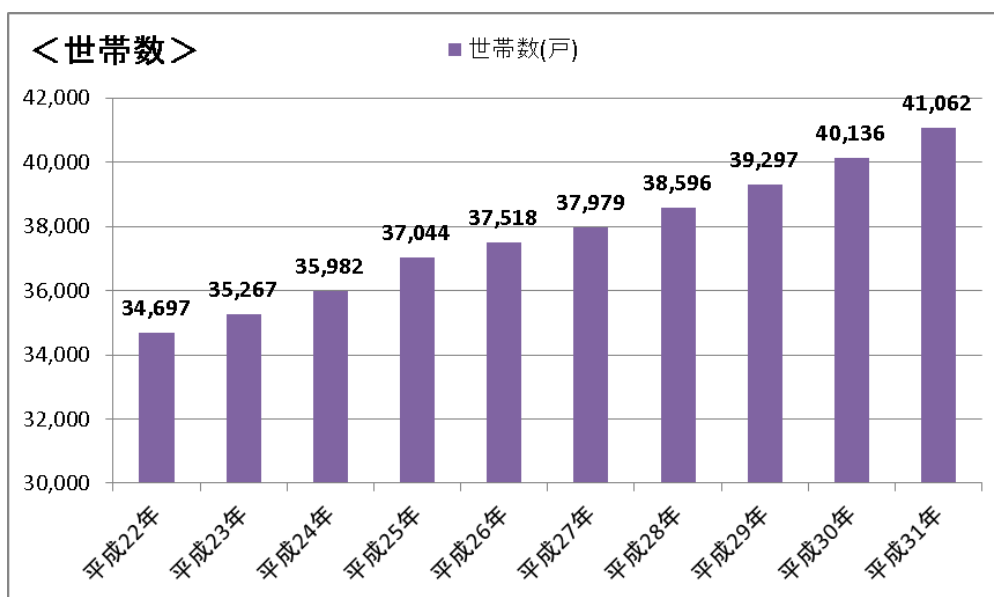
2. 人口

昭和30年3月に千代田町と旭村が合併した四街道町時代に一時減少となりましたが、その後は増加の一途をたどり、昭和53年に5万人を突破、平成31年4月1日現在では約9万4千人の市民が共に未来を創造する「市民参加」のまちづくりを推進しています。

図表 1-2-1 住民基本台帳人口（毎年4月1日現在）



※改正住民基本台帳法の施行に伴い、平成24年8月1日以降の全住民数には外国人を含めています。



3. 産業

本市の就業人口は、平成 27 年 10 月現在で 37,923 人となっています。産業別の就業構成比率は、第 1 次産業が 1.3%、第 2 次産業が 20.4%、第 3 次産業が 78.3%であり本市の就業者のほとんどが第 3 次産業に携わっています。

市制施行時（昭和 55 年）とその後（平成 17 年・平成 22 年・平成 27 年）を比較してみると、就業人口では、第 1 次産業は減少傾向、第 2 次産業及び第 3 次産業は増加から減少傾向にあります。構成比で見ると第 1 次産業は減少傾向、第 2 次産業及び第 3 次産業は増加後横ばいとなっています。

図表 1-2-2 産業別の就業人口

	昭和 55 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 27 年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
第 1 次産業	1,452 人	6.1%	621 人	1.6%	515 人	1.4%	479 人	1.3%
第 2 次産業	7,126 人	29.9%	8,525 人	21.5%	7,330 人	19.7%	7,759 人	20.4%
第 3 次産業	15,240 人	64.0%	30,398 人	76.9%	29,413 人	78.9%	29,685 人	78.3%
合計	23,818 人	—	39,544 人	—	37,258 人	—	37,923 人	—

4. 土地利用

本市は市内全域が都市計画区域です。図表 1-2-3 のとおり 12.45 km^2 の市街化区域と 22.25 km^2 の市街化調整区域に大別できます。

土地利用状況は、JR 四街道駅を中心とした市街地が形成されている他、千代田・物井地区と旭ヶ丘・みそら地区、鷹の台地区にまとまった市街地がみられます。

地目別では、図表 1-2-4 のとおり宅地が約 29.6%を占め、田、畑、山林、原野が減少傾向にあります。

図表 1-2-3 都市計画区域別面積（平成 30 年 3 月 27 日現在）

区 域		面積 (km^2)	比 率
市街化区域面積		12.45	35.9%
用途地域別	第一種低層住居専用地域	6.79	19.6%
	第二種低層住居専用地域	0.10	0.3%
	第一種中高層住居専用地域	1.60	4.6%
	第一種住居地域	2.55	7.3%
	第二種住居地域	0.20	0.6%
	近隣商業地域	0.25	0.7%
	商業地域	0.13	0.4%
	準工業地域	0.83	2.4%
市街化調整区域		22.25	64.1%
合 計		34.70	100.0%

※このデータは都市計画決定された数値であり、平成 26 年 10 月に国土地理院で公表されている行政区域面積（34.52 km^2 ）とは異なる。

図表 1-2-4 地目別土地面積（毎年1月1日時点）（単位：km²）

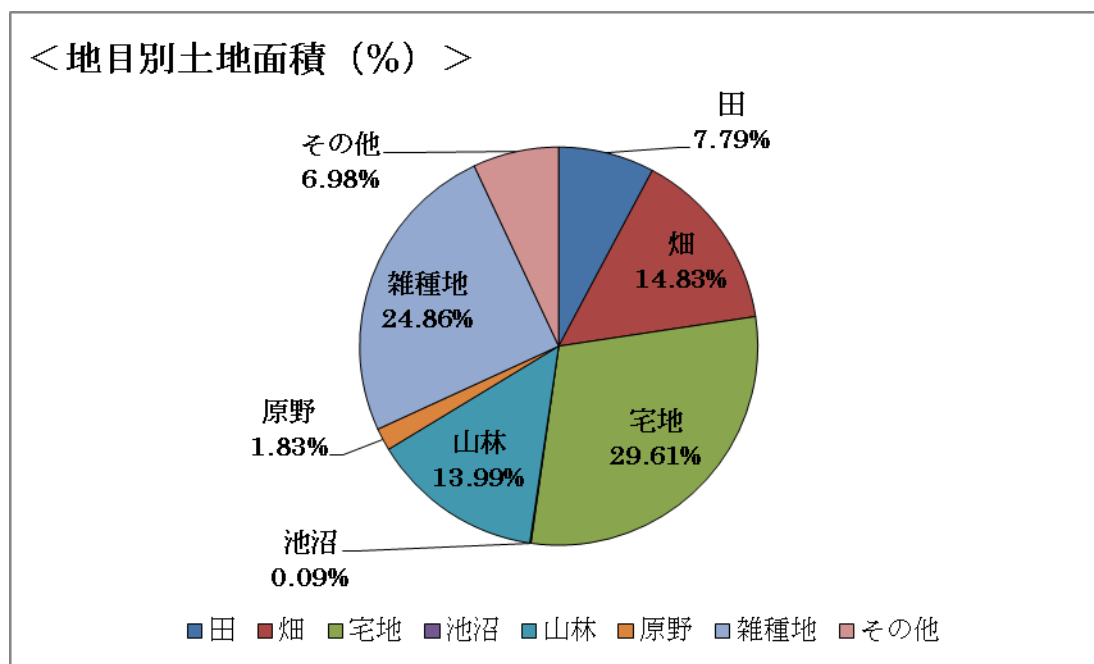
年	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他	
H22	34.70	2.89	5.71	9.49	0.04	4.64	0.68	8.44	2.82	
H23	34.70	2.86	5.65	9.52	0.04	4.65	0.69	8.49	2.80	
H24	34.70	2.85	5.63	9.60	0.04	4.64	0.69	8.47	2.78	
H25	34.70	2.81	5.59	9.66	0.04	4.6	0.7	8.54	2.77	
H26	34.70	2.79	5.48	9.72	0.04	4.59	0.7	8.6	2.78	
H27	34.52	2.75	5.4	9.82	0.03	5.16	0.69	8.06	2.61	
H28	34.52	2.74	5.3	9.88	0.03	5.09	0.68	8.19	2.61	
H29	34.52	2.71	5.2	10.03	0.03	4.9	0.66	8.57	2.42	
H30	34.52	2.69	5.17	10.1	0.03	4.86	0.64	8.61	2.42	
H31	面積	34.52	2.69	5.12	10.22	0.03	4.83	0.63	8.58	2.41
	割合%	100.00	7.79	14.83	29.61	0.09	13.99	1.83	24.86	6.98

※平成26年10月1日測量方法の変更などにより、市の面積が変更となった（国土地理院発表）。

市の境目は変更していない。

※各項目の面積は、小数点以下第3位で四捨五入しているため、内訳の計と総数が一致しない場合がある。

図表 1-2-5 地目別土地面積の割合（平成31年）



5. 交通

鉄道は、本市の中央を横断するJR東日本総武本線の四街道駅と物井駅があり、令和元年度は両駅合わせて1日平均で約2万6千人が利用しています。

バスは、四街道駅を起点・終点に各方面に路線網があります。市内循環バスも市役所を起点として右回りと左回りの2つの循環ルートを毎日運行しています。

一方、道路交通網は、北部を横断する東関東自動車道、南部を横断する国道51号線、主要地方道千葉臼井印西線、主要地方道浜野四街道長沼線、県道佐倉停車場千代田線、県道四街道上志津線が通っています。